

令和 5 年度泉州医療・病床懇話会における主な意見（概要）

開催日時：令和 6 年 1 月 4 日（木） 場所：opsol 福祉総合センター 3 階大会議室

1 第 8 次大阪府医療計画に関する意見

【基準病床数】

○コロナ禍での救急応需率に関するデータを用い資料を説明されたが、コロナ禍では、入院で対応できず宿泊療養等の入院外で対応することもあった。そのため、宿泊療養ではなく病床において対応できるよう、基準病床数の設定を考えて欲しい。

（事務局の回答）

病床が過剰と言われる地域においても救急医療の課題がみられる。救急医療の受け入れ機関の強化・後方支援の医療機関の確保に取組み、受入体制の強化を図っていききたい。

【在宅医療】

○高齢単身世帯が急増し、家族のフォローが難しくなる等、状況が変わってきている。その中で、無理に在宅医療を勧めるのは難しい世帯もある。そういった点も踏まえ内容を検討してもらいたい。

（事務局の回答）

医介連携の推進が必要と考えており、連携の拠点を各圏域に設定して、連携の拠点を中心に医療と介護を含めた連携を進めていきたい。

【医師確保】

○コロナ禍前に、夜間診療の当直医師の確保にあたっては、シーリングの状況を踏まえて考えるべきと意見を言わせていただいた。内科・麻酔科の若手医師数がシーリング制度により減少しているが、これら医師の確保については検討されているのか。

（事務局の回答）

医療計画の別冊として改定を予定している医師確保計画において、府の実態を踏まえた必要医師数を算出し、時間外労働規制の開始も踏まえて取組をまとめていく予定にしている。

2 地域医療構想の推進に関する意見

【全体】

○資料にある入院料実績の今後の需要見込みについては、コロナ禍である 2020 年を基準に試算している。コロナの影響で診療実績が落ちている状況と比較することは適切ではないのではないか。

（事務局の回答）

国立社会保障・人口問題研究所のデータを使用しているが、公表されていた推計人口が 2020 年度となっていた。あくまで推計となるので、状況をモニタリングし、保健医療協議会での意見も踏まえ医療体制にかかる取組を進めていきたい。

【各病院の対応方針（病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等）】

（1）公立・公的病院

●和泉市立総合医療センター

（病院への意見）HCU を最大 24 床設置したいとのことだが、既存の病床数内での転換であり、増床するわけではないので、病院連絡会でも意見はなかったと思う。現在保有されている小児病床 17 床については、今後も確保いただきたい。

（病院の回答）病床数は変更するかもしれないが、小児病床は今後も確保していきたい。

（2）その他、民間病院等

特になし。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

特になし

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】

特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

特になし（申請医療機関なし）。